

# 予算



平成25年度がスタートしました。今年度の町財政の収支計画である予算の総額は、支出ベースで140億6,945万円。その編成は行政施策の指針である基本構想と、これに基づく計画に沿って行いましたが、諸制度の改革による計画変更も考えられますので、今後も確実な財政措置に配慮しながら運営していきます。

# 特別会計

## 国民健康保険事業



0歳から74歳までの国民健康保険に加入している方の医療費などを負担する会計です。主な歳出は、医療費の保険給付費14億8,854万円(12.5%)、後期高齢者支援金3億945万円(2.6%)です。

22億7,619万円(8.8%)

## 介護保険事業



寝たきりや認知症などで介護を必要とする方の介護サービス費などを負担する会計です。主な歳出は、介護サービスの保険給付費12億2,023万円(7.9%)です。

12億8,086万円(6.5%)



## 後期高齢者医療

75歳以上の方に対する医療費などを負担する会計です。主な歳出は、後期高齢者医療広域連合納付金1億3,028万円(▲1.9%)です。

1億4,451万円(▲0.9%)

## 農業集落排水事業

十余三、島、牛尾・船越、林地区の下水を処理する会計です。主な歳出は、公債費(借り入れた地方債の元利償還金)6,904万円(0%)です。

1億3,243万円(0.4%)



## 学校給食センター事業



幼稚園児や小・中学生などの給食に係る会計です。

1億7,781万円(▲2.3%)

## 水道事業



安全・安心な上水を供給する会計です。老朽管の更新や浄水場の施設を整備・改良することにより、上水の安定供給を行います。

●収益的収支  
収入 3億 169万円(▲1.1%)  
支出 3億2,563万円(▲0.2%)  
●資本的収支  
収入 5,135万円(77.1%)  
支出 2億5,074万円(7.5%)

## 国保多古中央病院事業

医療のほか、訪問看護・居宅介護支援・居宅サービスなどの事業を行う会計です。

●収益的収支  
収入 21億1,783万円(3.3%)  
支出 21億1,783万円(3.3%)  
●資本的収支  
収入 3億1,594万円(111.0%)  
支出 4億1,858万円(76.4%)



# 企業会計

## 特別会計と公営企業会計

特別会計5会計の当初予算総額は40億1,180万円(6.9%増)で、一般会計からの繰入金総額は5億6,406万円(1.7%増)です。

国民健康保険事業特別会計では、後期高齢者支援金や介護納付金等の1人当たり負担見込額の増加、介護保険事業特別会計では、介護サービス給付費の増加により増額となりました。一方で、学校給食センター事業特別会計では、児童・生徒数の減少により減額となりました。

また、公営企業会計2会計では、収益的支出総額が24億4,346万円(2.8%増)、資本的支出総額が6億6,932万円(42.3%増)で、一般会計からの繰入金金は両会計合わせて3億6,762万円(1.9%減)となっています。

## 町債と財政調整基金

町債とは、町が借り入れるお金のことです。一般会計における今年度の借入額は9億3,740万円、元金償還額(返済金のうち元金)は2億6,733万円です。年度末の借入残高は38億9,613万円を見込んでいます。

また、家庭における預貯金に相当し、収入の減少や支出の増加に備え積み立てておく財政調整基金について、今年度は歳出に対する不足額の穴埋めとして7億8,288万円を取り崩し、一般会計の歳入に繰り入れる予定のため、年度末の基金残高の見込額は8億9,387万円となります。



## 平成25年度予算の概要

※( )内はすべて前年度比

### 一般会計

一般会計の当初予算額は、昨年度より16.6%増の69億4,487万円です。主な歳入では、町税で18億6,448万円(3.2%増)、地方交付税で15億3,000万円(2.5%減)、町債で9億3,740万円(59.9%増)となっています。

一方、歳出を目的別にみると、デジタル防災行政無線戸別受信機の購入等により総務費が9億4,487万円(2.9%増)、(仮称)多古こども園建設工事等の実施により民生費が27億5,287万円(48.4%増)、水道事業会計繰出金の減等により衛生費が7億7,354万円(0.3%減)、町道大谷・九蔵線に係る水道管布設工事負担金等の増額により土木費が7億8,501万円(10.7%増)となっています。

こども園建設事業および町道飯笹・西古内線道路改良事業等の実施により、普通建設事業費が20億1,243万円(83.8%増)、町勢要覧作成業務および学校図書電算化業務等の実施により、物件費が7億8,643万円(3.4%増)、障害者福祉サービス費等給付費および子ども医療扶助費の増額により、扶助費が5億9,560万円(4.3%増)、介護給付費繰出金および千葉県後期高齢者医療給付費市町村負担金の増額により、繰出金が7億5,159万円(3.2%増)と増加しています。一方で、町道舗装工事に係る事業費の減額により、維持補修費が6,232万円(24.3%減)、介護基盤緊急整備特別対策事業費の減額により、補助費等が11億2,670万円(1.9%減)と減少しています。

※一般会計の歳入と歳出(目的別)の詳細については、8〜9ページをご覧ください。

( )内は対前年度増減率・▲は減